

平成 28 年度石川県原子力防災訓練アンケート集計結果（参加機関）

1 回収率

	関係機関
対象	49
回収	49
回収率	100.0%

2 アンケート集計結果

(1) 貴機関が、本県の原子力防災訓練に参加したのは何回目ですか。

	全体	比率 (%)	参考 (前年%)
初めて	4	8.2	9.4
2回目以上	45	91.8	90.6
合計	49	100.0	100.0

(2) 訓練の実施についてどのようにお考えですか。

	初めての参加		2回目以上		全体	比率 (%)	参考 (前年%)
	機関数	比率 (%)	機関数	比率 (%)			
実施してよかった	4	100.0	35	77.8	39	79.6	71.7
どちらかといえば よかった	0	0.0	10	22.2	10	20.4	28.3
どちらかといえば よくなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
よくなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	4	100.0	45	100.0	49	100.0	100.0

(3) 貴機関の職員は、担当業務を円滑に行うことができましたか。

	初めての参加		2回目以上		全体	比率 (%)	参考 (前年%)
	機関数	比率 (%)	機関数	比率 (%)			
できた	2	50.0	24	53.3	26	53.1	28.3
おおむねできた	2	50.0	21	46.7	23	46.9	71.7
あまりできなかつ た	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
ほとんどできなかつ た	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	4	100.0	45	100.0	49	100.0	100.0

(4) 訓練を通じて、貴機関の職員は原子力災害時の対応や手順を理解できましたか。

	初めての参加		2回目以上		全体	比率 (%)	参考 (前年%)
	機関数	比率(%)	機関数	比率(%)			
よく理解できた	0	0.0	17	37.8	17	34.7	20.8
おおむね理解できた	4	100.0	28	62.2	32	65.3	79.2
あまり理解できなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
ほとんど理解できなかった	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
合計	4	100.0	45	100.0	49	100.0	100.0

3 参加機関の主な意見

- ・ 発災時における職員各自の役割や手順を確認できた。(自治体)
- ・ 防災部局以外の職員との連携が確認できた。災害時は部署を越えた連携が不可欠であり、職員の意識向上に繋がった。(自治体)
- ・ 訓練に参加しなかった職員に対しても、原子力災害時の対応や手順について周知を図る必要がある。(自治体・病院・社会福祉施設)
- ・ 訓練時間の制約により、過密で複雑な訓練スケジュールとなっている。訓練内容の絞り込みや、演習時間の有効活用など、参加者の防災対応への習熟度が上がるような訓練スケジュールに見直すべき。(自治体)
- ・ 施設で避難の際にどれだけの車両の要請が必要なのか事前に把握する必要がある。施設の車両のみでどれだけの避難が可能なのかも含めて考える必要がある。(社会福祉施設)